

プレスリリース（2021年6月17日）

オートリブ、長期的な気候変動目標を設定

（スウェーデン、ストックホルム、2021年6月17日） - 自動車安全システムで世界をリードする Autoliv, Inc.（NYSE略称：ALV、SSE 略称：ALIVsdb）は、2030年までに自社のオペレーションにてカーボンニュートラルを達成し、2040年までにサプライチェーン全体を通して温室効果ガス排出ネットゼロの実現を目指す計画を発表しました。さらに、オートリブは、SBT（Science Based Targets：科学的根拠に基づく目標設定）への取り組みも進めていきます。

「オートリブのビジョンであるSaving More Lives（より多くの命を守る）は、私たちが仕事をするうえで大切にしている信念です。事業戦略にはサステナビリティがしっかりと根付いており、業界のマーケットリーダーとして当社の取り組みはさらに幅広い社会の課題に連動しています。業界をリードし持続可能なモビリティと社会への積極的な貢献者になることは、当社の事業上の優先事項です。これによって市場における当社のリーダーシップや競争力が強化されるのです」と、オートリブ社長兼CEOのミカエル・ブラット（Mikael Bratt）は述べています。

自動車安全部品のリーディングサプライヤーとして、オートリブは2030年までに自社のオペレーションにてカーボンニュートラルを達成し、さらには2040年までにサプライチェーン全体を通して温室効果ガス排出ネットゼロを実現させる意向です。こうした取り組みによって、オートリブは、より広範囲な自動車関連サプライヤーグループのなかで先駆的な役割を果たしていきます。

自動車業界では、とりわけパワートレインの電動化において大きな構造上の変化が進んでいます。オートリブは、特に電気自動車向け製品の研究開発により、こうした発展を積極的に支援します。この新しい目標によってサプライチェーンの排出削減を実現し、お客様への支援を強化していきます。

気候変動に関するパリ協定に従い、オートリブの気候変動戦略にはSBT（科学的根拠に基づく目標設定）への取り組みと「Business Ambition for 1.5° C（地球の気温上昇を産業革命以前と比べて1.5°C以内に抑制）」が含まれます。これらについては、目標と野心的なレベルの認証および承認プロセスをすでに開始しています。

具体的な削減戦略を確定する作業が現在進行中です。その範囲は脱炭素化のためのあらゆる主要な手段を対象としており、例えば、オートリブとサプライヤーのオペレーションで使用する再生可能電力、低炭素物流、エネルギー・材料効率、低炭素材料などがあります。さらに詳しい実施計画は、11月に予定されるオートリブ・キャピタル・マーケット・デー（Autoliv Capital Markets Day）に合わせて、その概要を明らかにする予定です。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

Media: Gabriella Ekelund, Tel +46 (70) 612 64 24

Investors & Analysts: Anders Trapp, Tel +46 (0)8 587 206 71

Investors & Analysts: Henrik Kaar, Tel +46 (0)8 587 206 14

オートリブ グローバルについて

Autoliv, Inc. は、自動車安全システムをグローバル規模で提供するリーディングカンパニーです。当社は子会社を通して、世界中の主要自動車メーカー向けに、エアバッグ、シートベルト、ステアリングホイール（ハンドル）、歩行者保護システムなどの安全保護システムを開発、製造および販売しています。

27カ国に広がる68,000人以上の従業員は、「Saving More Lives（より多くの命を守る）」という当社のビジョンに真摯に取り組んでおり、どんな業務においても品質を最も重視しています。14カ所にテクニカルセンターを配置し、20の衝突試験装置を保有しています。2020年度の売上高は、74億4,700万米ドルです。株式をニューヨーク証券取引所（NYSE: ALV）に、スウェーデン預託証券をナスダック・ストックホルム（ALIV sdb）に上場しています。

さらに詳しい情報は、以下を参照してください。

www.autoliv.com オートリブグローバルサイト（英語）

セーフハーバー（免責）事項

本文書には、歴史的事実ではなく、1995年の民事証券訴訟改革法にて定義される範囲内で将来の見通しに関する記述とみなされる記述が含まれています。そのような将来の見通しに関する記述には、オートリブまたはそのマネジメントが、将来起こるであろうと考えるまたは予想する活動、事象または展開を示す記述が含まれます。すべての将来の見通しに関する記述は、現時点での我々の期待、さまざまな仮定および第三者から入手したデータに基づいています。

我々の期待と仮定は誠実に表現されており、それらには合理的な根拠があると考えています。しかしながら、そうした将来の見通しに関する記述が実現する、または正しいと証明される保証はありません。なぜなら、将来の見通しに関する記述は、本質的に既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因の影響を受けることになり、それらが、そうした将来の見通しに関する記述によって示されるまたは暗示される将来の結果、実績または成果とは実際には大きく異なる将来の結果、実績または成果をもたらす可能性があるからです。

数多くのリスク、不確実性およびその他の要因が、将来の見通しに関する記述にて示される結果とは実際には大きく異なる結果をもたらす可能性があります。本書またはその他の文書に含まれる将来の見通しに関する記述について、当社は、1995年の民事証券訴訟改革法に示される、将来の見通しに関する記述に対するセーフハーバー（免責）の保護を主張します。また、当社は、法律にて要求される場合を除き、新しい情報または将来の事象を踏まえて将来の見通しに関する記述を公に更新または修正する義務を負いません。

※本資料は2021年6月17日にオートリブ本社（スウェーデン）で発表されたプレスリリースの日本語版です。英語版は以下のリンクからご確認ください。

<https://vp275.alertir.com/afw/files/press/autoliv/202106173472-1.pdf>